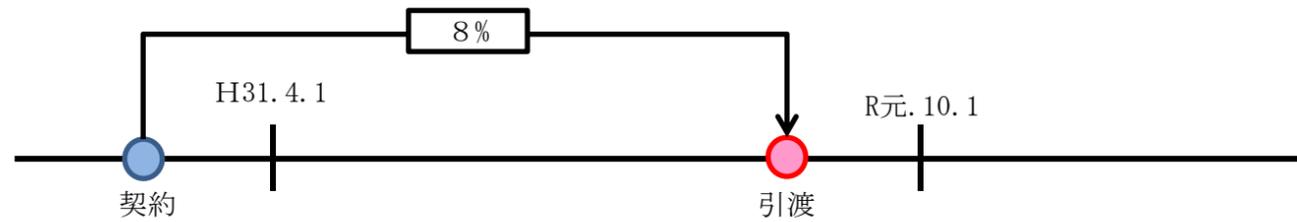


建設工事、建設工事に係る委託業務における消費税の取扱いの整理図

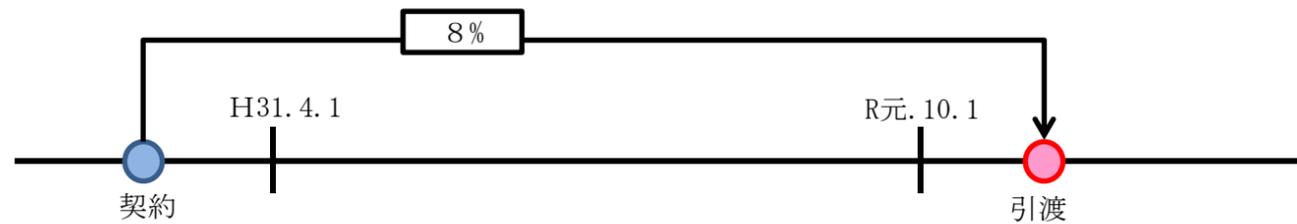
【パターン①】

H31. 4. 1より前に契約、R元. 10. 1より前に引渡の工事等→ 8%



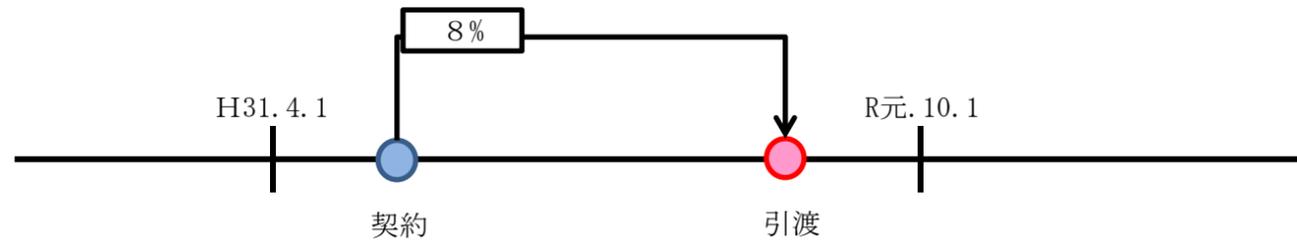
【パターン②】

H31. 4. 1より前に契約、R元. 10. 1以降に引渡の工事等→ 8%



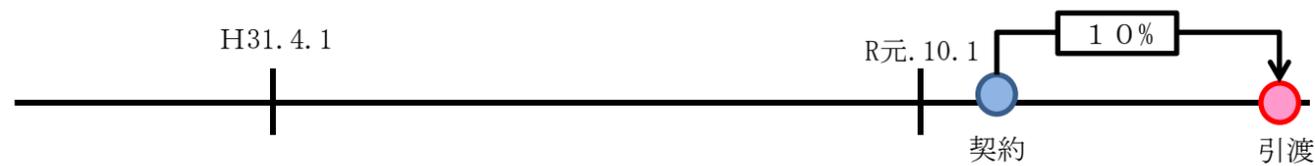
【パターン③】

H31. 4. 1以後に契約、R元. 10. 1より前に引渡の工事等→ 8%



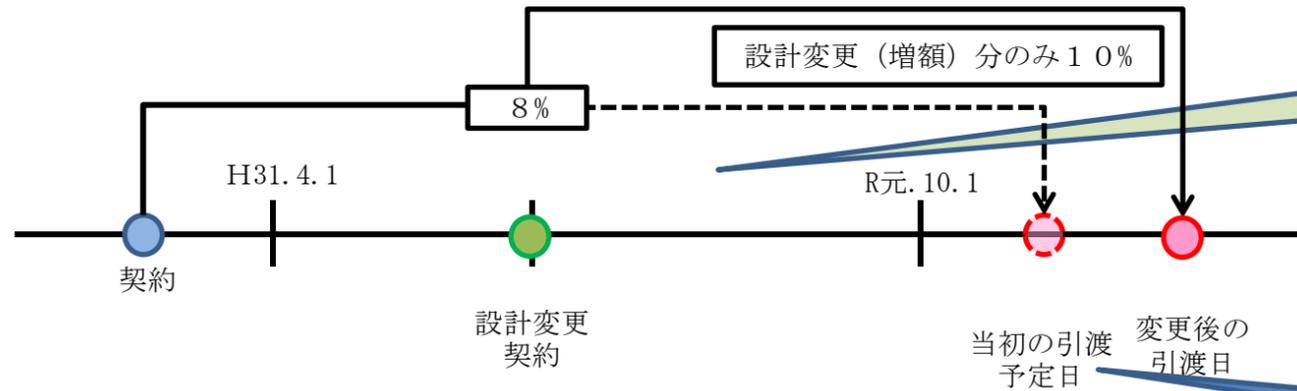
【パターン④】

R元. 10. 1以後に契約、引渡の工事等→ 10%



【パターン⑤】

②の工事等で、H31.4.1以後に行われる増額変更契約→増額分のみ10%（H31.3.31までの契約部分は8%）
 （H31.4.1以降に減額変更契約、増額変更契約各々があったが、最終的な契約金額がH31.3.31時点の契約金額を超える場合も含む。）

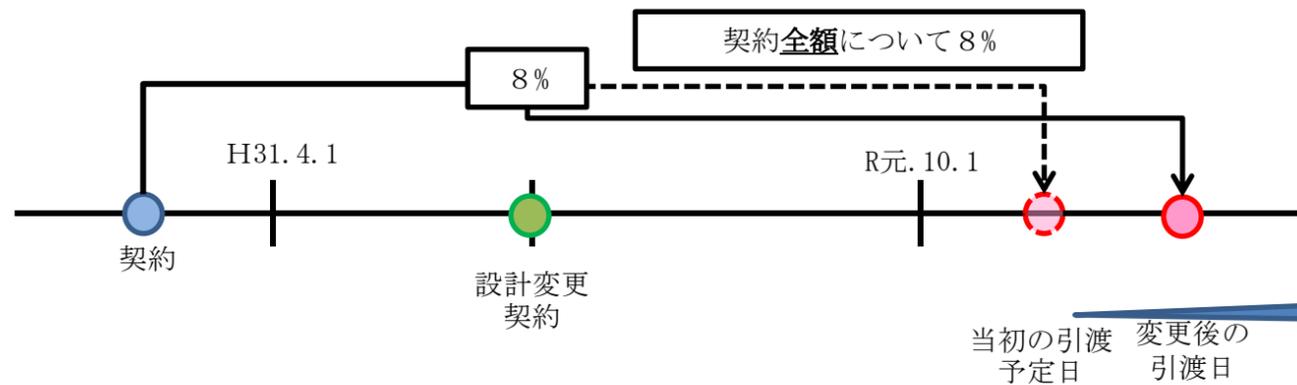


増額分に関して、R元年度予算の前金払、部分払金は8%、残りの2%については工事完了時に支払う。

当初の引渡予定日がR元.9.30以前の場合もこのパターン

【パターン⑤-2】

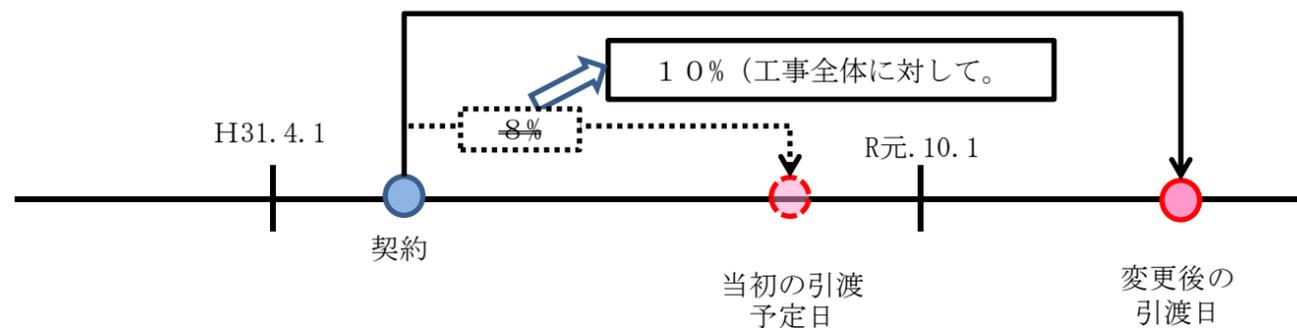
②の工事等で、H31.4.1以後に行われる減額変更契約→契約全額について8%
 （H31.4.1以降に減額変更契約、増額変更契約各々があったが、最終的な契約金額がH31.3.31時点の金額以下の場合も含む。）



当初の引渡予定日がR元.9.30以前の場合もこのパターン

【パターン⑥】

③の工事等で、福井県工事請負約款第19条～21条、公共土木設計業務等委託契約約款第19条, 20条, 22条の場合等、受注者の責によらない理由で遅延し、工期延長した結果、引渡しはR元.10.1以降になる場合→10%（工事全体に対して。※）



※<<パターン⑥の増額分の計算>>

- 課税事業者
→請負代金額等から取引に係る消費税額を除いた金額に100分の2を乗じて得た額。
- 免税事業者
→仕入れに係る消費税の税率の改正による消費税の増加相当分（R元.10.1以後の仕入相当額から仕入に係る消費税額を除いた金額に100分の2を乗じて得た額。）